

地域で育むACP

対象:訪問看護ステーション・医療機関等で原則5年以上の在宅看護経験がある看護師、セラピスト

A-1

訪問看護におけるACPの考え方
～人生会議を“支援”するとは

ACPを義務的業務から解放し、訪問看護師が本人の価値観を丁寧に汲み取り支援する立場を言語化します

佛教大学 看護学部／教授 濱吉 美穂

A-2

ACPの対話をどう始め、どう続けるか
～声かけと関係性づくり

日常ケアの中で自然に始められる声かけや傾聴技術を学び、信頼関係を築いて対話を継続する実践力を養います

佛教大学 看護学部／教授 濱吉美穂

A-3

訪問看護の現場で実際にやっているACP
～成功と失敗から学ぶ

成功事例と失敗事例を分析し、現場で再現可能な工夫や注意点を抽出して日常ケアに落とし込む方法を学びます

大阪医科薬科大学訪問看護ステーション／管理者 林 佳美

A-4

MSWから見たACP～連携がうまくいく時・こじれる時

社会福祉士等の視点から家族調整や多職種連携の実態を学び、連携が円滑になる要因とこじれる際の対応策を整理します

森ノ宮病院／医療相談室 部長 藤井 由記代

A-5

病院と在宅でACPをつなぐ

退院時や病院との情報共有での限界と可能性を理解し、訪問看護師が病院へ伝えるべき要点と実践的な伝達方法を学びます

大阪大学医学部附属病院／副看護師長 在宅看護専門看護師 吉田 麻美

お申込みはこちら



8月～11月(オンデマンド配信)

- 1講座 2,000円／1コース(5講座) 7,000円
- 全コース(4コース・20講座) 20,000円

*個人・施設(受講者数に関わらず)とも同費用
施設内の研修にぜひご活用ください!

11月10日(火)〆切

大阪公立大学大学院看護学研究科訪問看護専門研修事業事務局

〒545-0051大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-17 gr-nurs-houmonkensyu@omu.ac.jp

※当研修は大阪府訪問看護推進事業として大阪府から補助を受けて実施しています

暮らしを支える実践力

対象:訪問看護ステーション・医療機関等で原則5年以上の在宅看護経験がある看護師、セラピスト

家族の力を引き出す訪問看護師の関わり方

B-1

家族の基本的な捉え方と、エンドオブライフにある療養者家族の課題を理解し、具体的な事例を通して家族の力を引き出す家族支援について学びます

大阪府済生会中津病院／家族支援専門看護師 佐藤 美樹

高齢者の意思決定支援

～意思決定支援について改めて学んでみませんか

B-2

年齢を重ねると、意思決定が難しくなってくることもある。ご本人の意思を中心に、家族や医療者が協力して行う意思決定支援について具体的な事例を通して学びます

神戸市立西神戸医療センター／老人看護専門看護師 森本 景子

慢性呼吸器疾患とともに生きる療養者の
「望む生活」を支えるケア

B-3

呼吸不全に関する基礎知識を踏まえ、療養者が望む生活を実現するための酸素およびNPPV管理、日常生活の工夫、多職種連携など、セルフマネジメント支援の実践を学びます

大阪はびきの医療センター／慢性疾患看護専門看護師 平田 聡子

糖尿病療養者の血糖管理～我慢ではなく工夫を

B-4

在宅での血糖管理、難しいですね。食事や運動の「ちょっとした工夫」と、看護師としての「患者さんの捉え方」を少し変えるだけで、今のケアが少し変わるかもしれません。そんな視点を一緒に考えてみませんか

あさかぜ診療所／慢性疾患看護専門看護師 山尾 美希

心臓の病気を持つ人が
家で身体を大切にすることを支える

B-5

心不全となった人が、住み慣れたわが家で身体を大切に過ごすための、基本的な知識を学びます

獨協医科大学／慢性疾患看護専門看護師 戸沢 智也

お申込みはこちら



8月～11月(オンデマンド配信)

■ 1講座 2,000円／1コース(5講座) 7,000円

■ 全コース(4コース・20講座) 20,000円

*個人・施設(受講者数に関わらず)とも同費用
施設内の研修にぜひご活用ください!

11月10日(火)〆切

大阪公立大学大学院看護学研究科訪問看護専門研修事業事務局

〒545-0051大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-17 gr-nurs-houmonkensyu@omu.ac.jp

※当研修は大阪府訪問看護推進事業として大阪府から補助を受けて実施しています

暮らしを整える身体ケア

対象:訪問看護ステーション・医療機関等で原則5年以上の在宅看護経験がある看護師、セラピスト

C-1

療養者中心の視点で向き合う排便ケア
～訪問看護の実践事例から学ぶ

排便に関する基礎知識をおさえ、個別的なアセスメントに基づく支援方法を理解する
「とりあえず出す」ケアを見直し、療養者中心の視点に立った排便ケアについて学びます

きつこう会多根訪問看護ステーション／在宅看護専門看護師 山本 初美

C-2

車椅子シーティング入門

車椅子やクッションとの不適合があった時の二次的なリスク。適合に必要な評価内容。車椅子やクッションの種類。多職種連携におけるシーティングについて学びます

リハビリテーション天草病院／リハビリ部地域リハ担当 理学療法士 阿部 高家

C-3

在宅で差がつく皮膚アセスメントの基本と実践

在宅療養者の皮膚を守るための観察視点と評価の基本を整理し、忙しい現場でも実践できる予防的スキンケアの具体策をわかりやすく解説します

宇都宮第一病院／在宅看護専門看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師 篠原 真咲

C-4

リンパ浮腫について「あなたに知ってほしいこと」

「リンパ浮腫」はいったん発症すると完治させることは困難です。リンパ浮腫ケアを実践していくこと上で、在宅で過ごされる方のために知ってほしいことをご紹介します

大和高田市立病院／WOCナース・ICAA認定リンパ浮腫専門看護師 吉川 由紀

C-5

在宅で足を守るためのケアポイント

在宅患者の足トラブルは見逃されやすく重症化しやすいため、病態理解と観察が重要である。早期対応と多職種連携、継続できるセルフケアについてお伝えします

獨協医科大学病院／糖尿病看護特定認定看護師 小沼 真由美

お申込みはこちら



8月～11月(オンデマンド配信)

■ 1講座 2,000円／1コース(5講座) 7,000円

■ **全コース(4コース・20講座) 20,000円**

***個人・施設(受講者数に関わらず)とも同費用
施設内の研修にぜひご活用ください!**



11月10日(火)〆切

大阪公立大学大学院看護学研究科訪問看護専門研修事業事務局

〒545-0051大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-17 gr-nurs-houmonkensyu@omu.ac.jp

※当研修は大阪府訪問看護推進事業として大阪府から補助を受けて実施しています

対象:訪問看護ステーション・医療機関等で原則5年以上の在宅看護経験がある看護師、セラピスト

D-1

様々な課題を抱える母子への支援の実際

今後ますます求められる障がいのある親への育児支援の実際やケアのポイントなど、具体例とともに紹介します

さんば訪問看護ステーション／代表 管理者 塩浦 ゆかり

D-2

知っているとな役に立つ！

訪問看護に関する介護報酬・診療報酬の基礎知識

療養者の状況に応じた適切なサービス提案を行うために、介護報酬・医療報酬の基礎知識を理解し、人材確保の重要性や制度改定の方向性を踏まえた訪問看護報酬の今後の動向について学びます

なないろ高槻訪問看護ステーション／在宅看護専門看護師 堀田 洋子

D-3

多職種連携に必要なポジショニングと福祉用具の知識

在宅生活には、人的サービスと共に福祉用具などの物的サービスも欠かせません。褥瘡予防に必要なポジショニング等を多職種で連携して実施していくための福祉用具について解説します

株式会社ケアメディカル／作業療法士 高村 道子

D-4

訪問看護におけるカスタマーハラスメント対策の基礎知識

2026年10月から法改正により企業等の義務となるカスタマーハラスメント対策。訪問看護でのカスタマーハラの現状と訪問看護事業所での対策に必要な対応の基礎知識を学びます

森ノ宮医療大学／教授 武 ユカリ

D-5

平時からの他職種連携で災害関連死を防ぐ！

行政保健師との連携のコツ

災害時における行政の動きを知り、平時からの顔の見える関係づくりをいざという時の資源にする方法を学びます

大阪市健康局健康推進部健康づくり課／保健副主幹 齊藤 和美

お申込みはこちら



8月～11月(オンデマンド配信)

■ 1講座 2,000円／1コース(5講座) 7,000円

■ 全コース(4コース・20講座) 20,000円

*個人・施設(受講者数に関わらず)とも同費用
施設内の研修にぜひご活用ください！

11月10日(火)〆切

大阪公立大学大学院看護学研究科訪問看護専門研修事業事務局

〒545-0051大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-17 gr-nurs-houmonkensyu@omu.ac.jp

※当研修は大阪府訪問看護推進事業として大阪府から補助を受けて実施しています